

平成22年度富県創出モデル事業の取組の方向性(団体間協働による取組)

取組テーマ	観 光	ポートセールス	大学と企業とのマッチング
目 的	第一次産業から第三次産業までの産業体験メニューの掘り起こしを行うとともに、これらを活用した教育旅行や体験旅行の商品化と人材育成を含む受入体制の整備などを進めることにより、本県の観光地としての魅力を高め、観光客の増加を図る。	仙台港を利用したモーダルシフト※によるコスト削減効果を把握し、輸送工程を映像化した新たなセールスツールを構築するとともに、県の個別企業訪問等による従来型のポートセールスから一歩踏み込み、関係団体と協働化したポートセールス活動を展開し、仙台港への貨物集荷等の利用促進と企業の輸送コストの削減を図り、地域経済の活性化を図る。	大学側のニーズと地元企業のマッチングを行うことで、県内企業のビジネスチャンスを生み出すとともに、大学に地元企業を知っていただくことで、産学連携の具体化や深化が期待できる。
考 え 方	(1)事業名	(仮称)産業観光推進事業	(仮称)仙台港プロモーション事業
	(2)想定協働団体	平成21年度の協働団体(希望団体)	宮城県商工会議所連合会,(社)東北経済連合会等(希望団体)
	(3)事業概要	<p>○H21～22年度の2か年事業</p> <p>○H21年度の成果(体験メニューの掘り起こし、受入体制整備、紹介パンフレットの作成)を踏まえ、産業観光を柱とした教育旅行の誘致を進めていく。</p> <p>①教育旅行の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー(小中学校の教員や旅行会社の教育旅行担当を対象) ・意見交換会(小中学校の教員や旅行会社の教育旅行担当を対象) <p>②受入体制整備等(体験メニューの掘り起こし、人材の育成等)</p> <p>③教育旅行誘致のための産業観光パンフレット増刷・DVD作成等</p> <p>※ 農商工連携などの新しい要素をできる限り盛り込むよう努めていく。</p>	<p>①輸送効果把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台港を利用したトライアル(試験)輸送を行い、京浜港利用の場合と比較した効果を把握する。実施する企業は、関係団体からの推薦により選定する。 <p>②輸送効果の可視化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説得力あるポートセールスを行うため、仙台港のメリットやトライアル輸送の結果をまとめたDVDを作成する。 <p>③関係団体協働による推進体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県と関係団体が協働し、DVD等を活用した物流検討会(勉強会)を行うなどして、仙台港の利用促進を図る。 <p>○主な対象企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在輸出入において京浜港を利用している企業 ・海外への販路拡大を目指している企業
県関係部署	観光課, 宮城県教育委員会	港湾課	新産業振興課

※貨物輸送方式をトラックから鉄道・海運等へ転換すること。